

やつしろスピリッツ

愛言葉：「あいさつ・ききかた・そろえかた」

- ・自分からすすんであいさつする
- ・話す人の顔を見てしっかり聴く
- ・靴のかかとを 靴箱の手前のへりにそろえる



「やつしろスピリッツ」とは

六中だより



文責 宮川英樹



三年生の靴箱の様子←

八代市のすべての小中学校で行っている学びの土台づくりがあります。それが「やつしろスピリッツ」です。

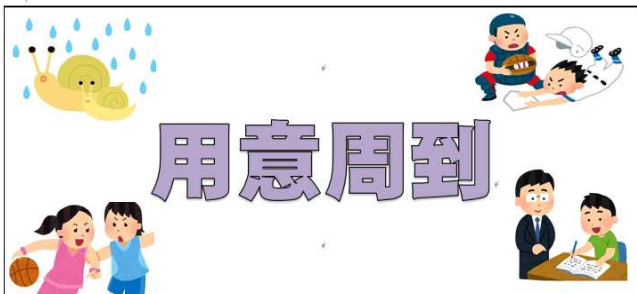
「挨拶」「聴き方」「靴のそろえ方」がしっかりとできるということは、建物で例えれば地盤を固めるといふことになります。そうすれば、その後の学びがうまく進みます。

学校でもこのことは指導を続けていきます。これを御家庭での生活に当てはめると次のような事になると思います。

- ①『おはよう』『行ってきます』『ただいま』『おやすみ』の挨拶を交わす
- ②「お互い目を合わせて会話をする」
- ③「玄関の靴などをそろえる」等々

今月の生徒集会から（6月の生活目標・あいさつレベル5）

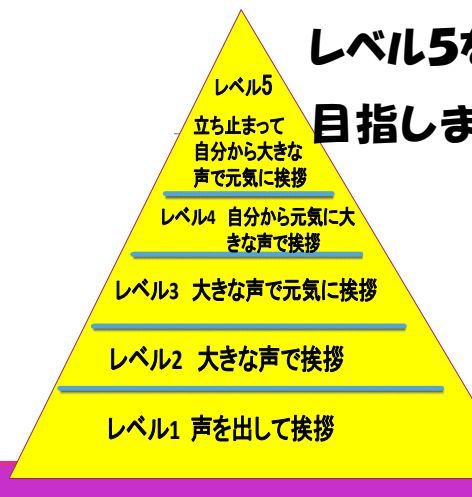
令和3年 6月 生活目標



- ① 期末テストに向けて、これまでの授業の復習をしっかりとしよう。
- ② 3年生は、最後の試合に向けて、1、2年生は、3年生との最後の試合を悔いのないよう全力を尽くそう。

レベル5を

目指します！



生徒会長の言葉より

あいさつはなぜ必要なのか。僕は、あいさつをすることは相手に対して心を開いているということを表していると思います。そして、受ける方もきちっと返すことで周りから見た感じも明るく見えます。六中に来た人が元気のいいあいさつをされたら、また六中に来たいと思うはずですよ。

あとがき

暑くなりました。先日、生徒集会で生徒指導主事の柴田先生から、日焼け止めと制汗シートの使用についての話がありました。また、熱中症予防のため、その日の気温や時間割、部活動等を考えて水筒の中をスポーツ飲料にするのも可とする生徒へ伝えていきます。

昨年は、衣替えやエアコンで寒さを感じた時の服装など、生徒の判断に任せる部分が増えてきました。とてもよい傾向であると思います。

これも、六中生が集団の一員としてルールを守り生活ができていくことで可能となっていることです。

今、ネット上で「ブラック校則」等と称された校則が取り上げられていくようです。校則はできるだけ少ない方がよいと思っております。

個人的には「集団の一員であることを自覚し、自他の学校生活の妨げにならないような服装及び行動等」とだけあるような校則が理想であると思います。が、いかがでしょうか。